

社員・地域・顧客に「おもてなし」をすることで、
健全な経営を実践している中小企業・小規模企業を表彰する

第7回

三重の

おもてなし 経営企業選

～令和2年度受賞企業のご紹介～



株式会社宝輪



株式会社ミツイバウ・マテリアル



株式会社四日市事務機センター

三重県

令和2年度受賞企業



株式会社宝輪 (運送業)

鈴鹿市国府町5696-1
TEL : 059-378-2818 FAX : 059-378-0861
HP : <https://kkhowa.co.jp/company.html>

株式会社ミツイバウ・マテリアル (建築資材卸売業)

松阪市高須町3460番地125
TEL : 0598-51-3308 FAX : 0598-51-3307
HP : <https://mitsuibau.com/company/>

株式会社四日市事務機センター (事務機器販売業)

四日市市日永西2丁目18番地7号
TEL : 059-346-5411 FAX : 059-346-1177
HP : <https://www.yj-c.co.jp/company.php>

株式会社四日市事務機センター(四日市市)

経営理念:未来を笑顔に

～我々に関わる人たちの「未来」を笑顔にする～



OA機器の販売・保守メンテナンスや社内インフラの構築・管理、クラウドシステムの提案・構築などを行っている。

革新的な商品やシステムを提供することで地域の企業の成長に繋げることを企業活動の目的としている。

●創業 1974年 ●従業員数 32人

●資本金 1000万円 ●代表取締役 佐野 智成

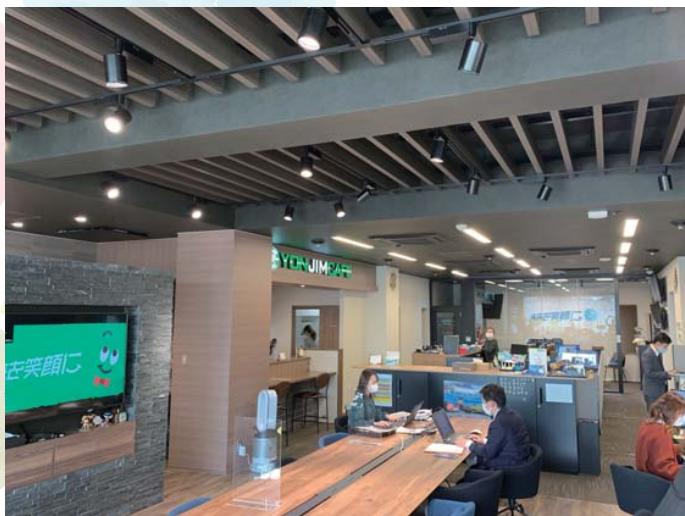
優れた取組のご紹介

～社員の意欲と能力を最大限に引き出す仕組み・取組み～

オフィスは、自宅やカフェ風になっていて、社員が働きやすくリラックスでき、仕事への意欲が向上し、創造性が發揮しやすい環境が整備されている。

また、SNSの活用による社長、社員同士による情報共有、お互いの感謝の気持ちを伝えあう「ありがとうメッセージ」や社員の家族などに関する掲示板など、社内コミュニケーションを促進する工夫が随所に見受けられる。

自社専用の福利厚生アプリを導入し、独自の福利厚生制度を98有している。福利厚生制度は、「健康」「家族」「チームワーク」に分類されており、禁煙手当や失恋休暇、社員の子供へのランドセル支給、家族の誕生日をノーカーとしているなど、ユニークで社内コミュニケーションが活発になるような制度があり、活用されている。



快適で遊び心満載のオフィス空間



12種類のフリーアドレス空間を設置

～地域・社会との関わりを大切にする事業や活動～

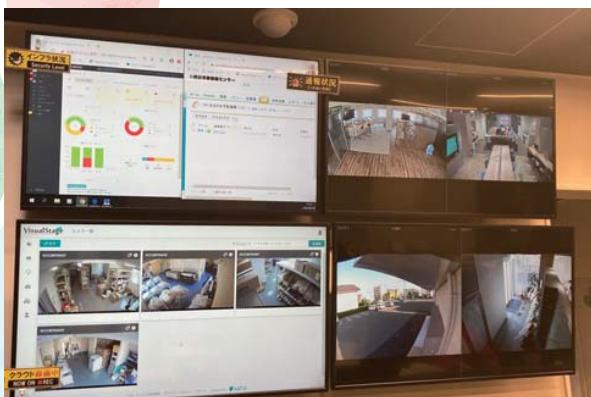
地元スポーツチームのスポンサーになっているほか、四日市まつりや四日市花火大会など地元で開催される祭りへの協賛、学童や保育園などへの寄付活動など地域への貢献活動に取り組んでいる。

四日市事務機センターのビジネスモデルから地域社会へ貢献することを重視していて、ICTやIoTを推進し、地域企業の発展に貢献している。また、自社に取り入れた全国の革新的な企業のノウハウや取組を体験型のオフィス見学ツアーやセミナー開催を通じて、地域の企業に提供することで、企業の社員の士気や生産性の向上に向けた支援を行っている。

～顧客への高付加価値で差別化された製品・サービスの提供～

クラウドシステムとタブレットPCを活用した顧客管理システムを導入していて、全社員がリアルタイムに、情報収集・把握・活用できる体制を構築している。顧客の事務機器故障等の際には、現場に一番近い社員が対応し、迅速な対応が可能となっているとともに、社員が担当事業所以外に駆けつける場合には、それを数値データとして客観的に評価しているなど、顧客満足と社員の共創意識の向上が両立する仕組みが整備されている。また、社内Wi-Fi環境が整備され書類が電子化されるとともに、社内及び個人PCのデータをクラウドシステムに保存することで外出先からも常時社内と同様の作業ができるにより、顧客サービスの迅速な提供が実現している。

新たな商品やシステムが発売されると、まず自社で利用してみてから、本当に良いと判断したものだけを顧客企業に提供するほか、自社に取り入れた革新的な取組やノウハウも惜しみなく提供するなど、顧客企業の成長に貢献しようとする姿勢が見受けられる。



クラウドシステムを管理する
大型モニター20台を設置



他拠点と常時話せる
Webワープオフィス

受賞企業コメント～「おもてなし経営」実践の目的～

事務機業界は20年前から衰退がはじまり、多くの同業者が倒産・廃業していきました。このような状況のなか、事務機業界が継続的に発展していくには、地元中小企業が成長していく必要があります。その為にも、「おもてなし経営」を実践して、他を圧倒できるアフターサポート企業へ成長し、永続的に高付加価値なサービスの提供ができる企業になる必要があると考えています。



代表取締役 佐野 智成